

# 全国中小企業動向調査結果

(2010年4－6月期実績、2010年7－9月期以降見通し)

## 目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

### 【小企業編】

＜基調判断＞  
小企業の景況は  
持ち直しの動きがみられる

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
調査の実施要領・・・・・・・・・・	4
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・	5
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
資金繰り、借入・・・・・・・・・・	12
経営上の問題点・・・・・・・・・・	13
設備、価格・・・・・・・・・・	14

### 【中小企業編】

＜基調判断＞  
中小企業の景況は  
持ち直しの動きが続いている

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
調査の実施要領・・・・・・・・・・	16
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・	17
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
純利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
価格、金融関連・・・・・・・・・・	22
雇用、設備・・・・・・・・・・	23
経営上の問題点・・・・・・・・・・	24

＜問い合わせ先＞  
日本政策金融公庫 総合研究所

【小企業編】  
小企業研究第2グループ  
TEL 03-3270-1691  
担当 立澤、石原

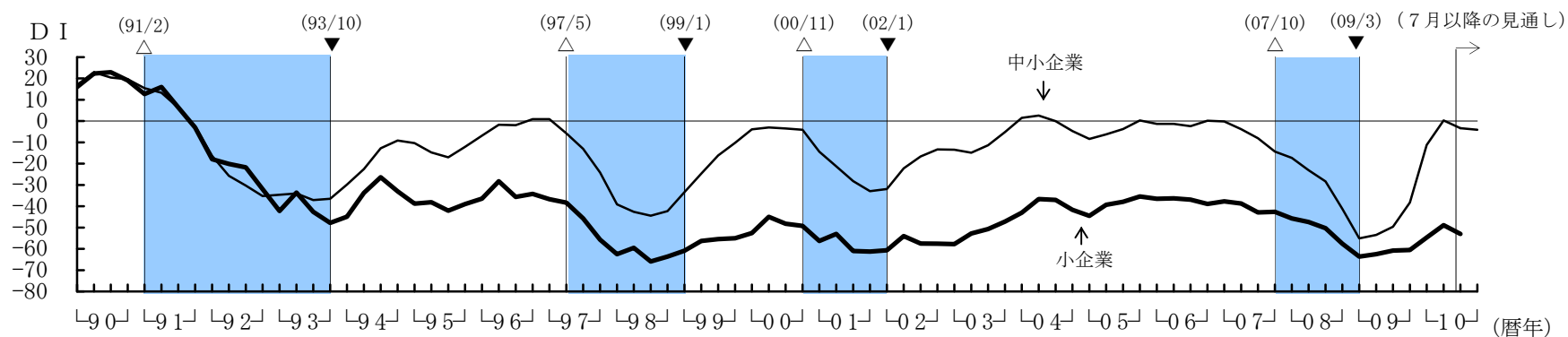
【中小企業編】  
中小企業研究第1グループ  
TEL 03-3270-1703  
担当 桑本、芳野



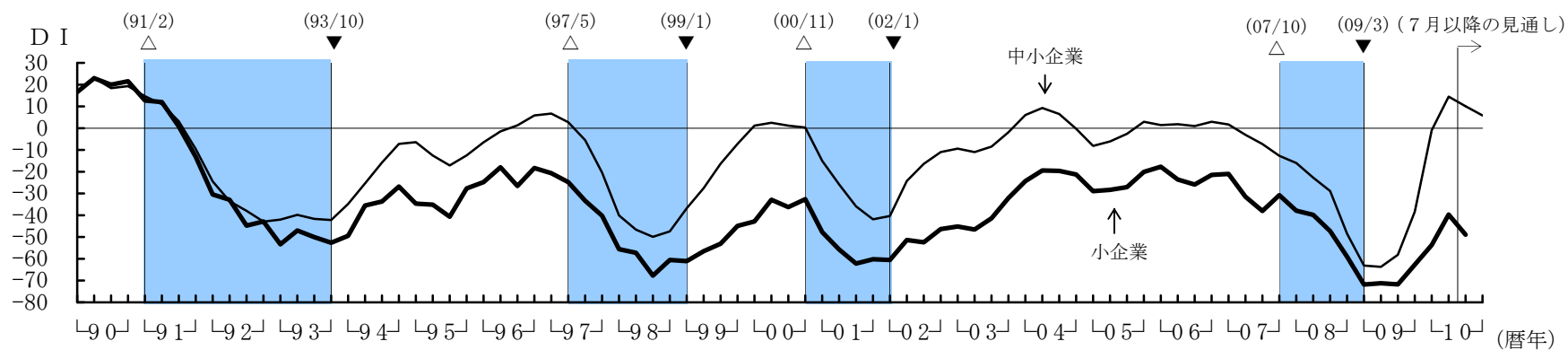
# 調査結果の概要

## 1 業況判断D Iの推移

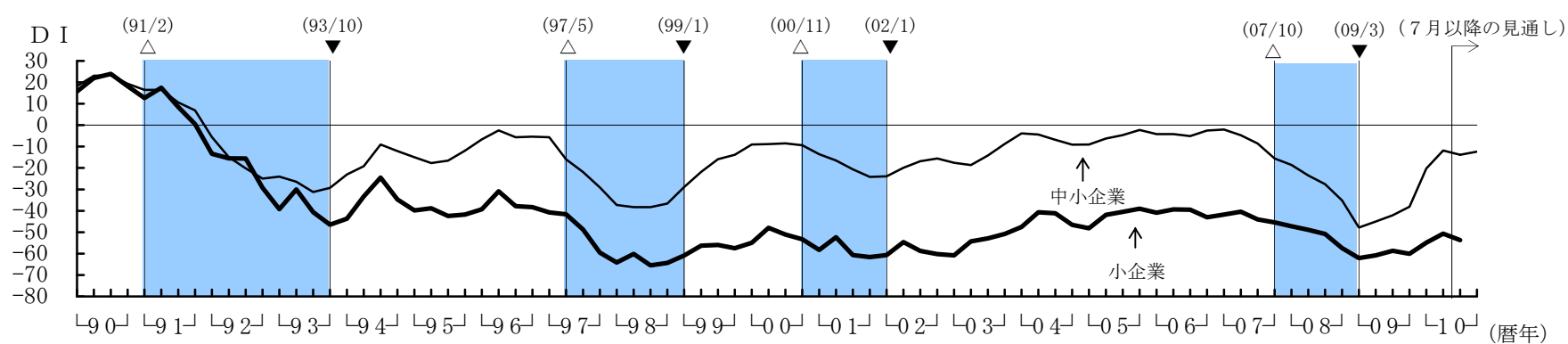
### ①全業種計



### ②製造業



### ③非製造業

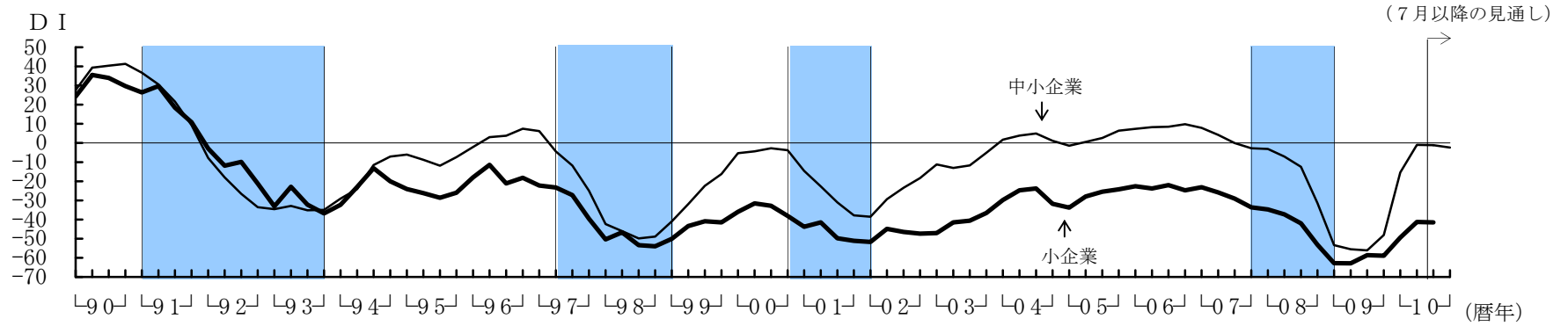


(注) 1 小企業は「良い」企業割合－「悪い」企業割合。

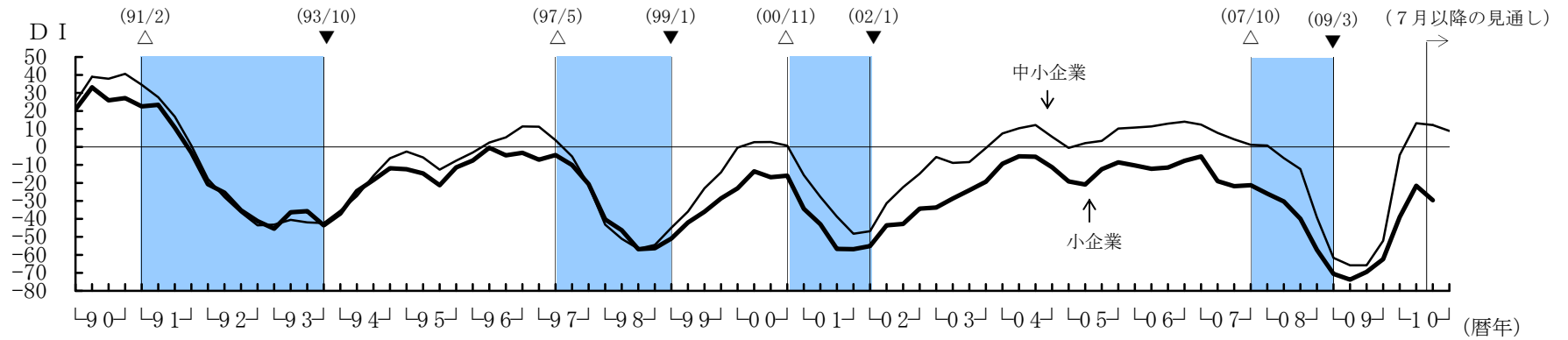
2 中小企業は「好転」企業割合－「悪化」企業割合(前年同期比、季節調整済)。

## 2 売上DIの推移

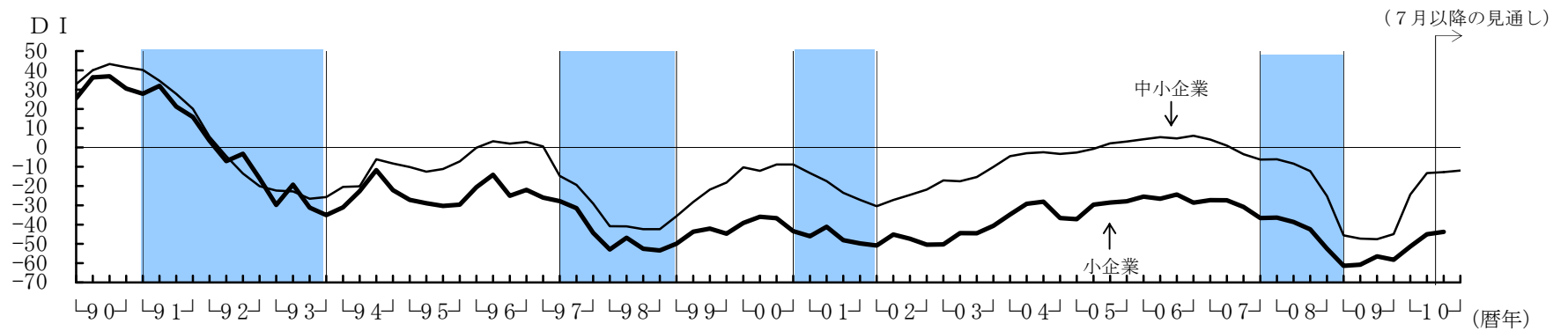
### ①全業種計



### ②製造業



### ③非製造業



(注) 1 小企業は「増加」企業割合－「減少」企業割合（前年同期比）。

2 中小企業は「増加」企業割合－「減少」企業割合（前年同期比、季節調整済）。

# 小 企 業 編

(2010年4－6月期実績、2010年7－9月期見通し)

## 小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる

### [概況]

- ・業況判断D I は、前回調査(2010年1－3月期)に比べて5.8ポイント上昇した。来期については、低下する見通しとなっている。
- ・売上D I は、2期連続で上昇した。来期については、わずかに低下する見通しとなっている。
- ・採算D I は、2期連続で前年同期の水準を上回った。来期についても、前年同期の水準を上回る見通しとなっている。
- ・資金繰りD I、借入D I は、ともに2期連続で上昇した。

## [調査の実施要領]

調査時点 2010年6月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,998 企業 [回答率 70.0 %]

### 〈業種構成〉

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	1,121 企業	(構成比 16.0 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	572 企業	(同 8.2 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,719 企業	(同 24.6 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	1,167 企業	(同 16.7 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,427 企業	(同 20.4 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	102 企業	(同 1.5 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	764 企業	(同 10.9 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	126 企業	(同 1.8 %)

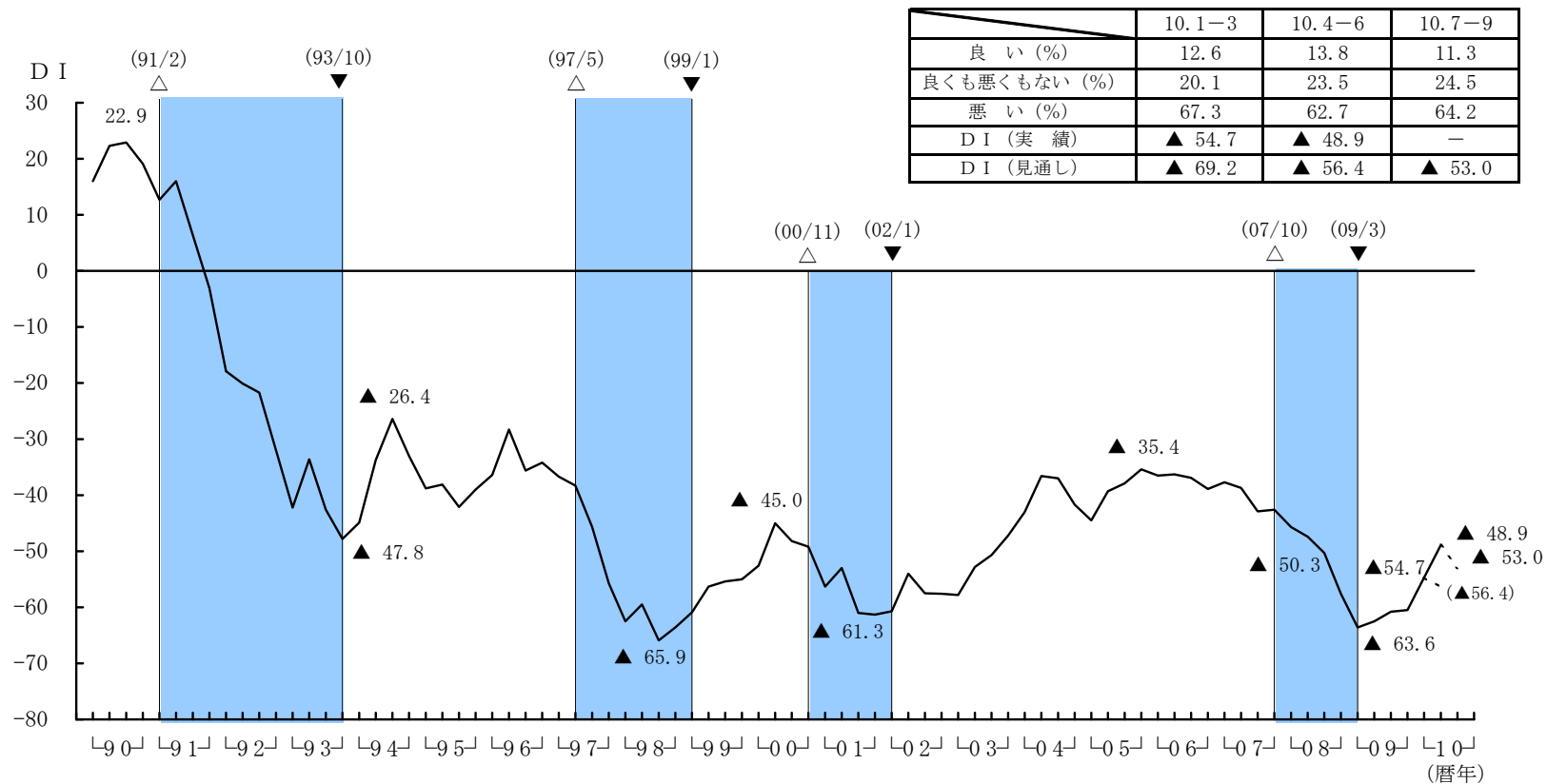
(参考)

個人 2,565 企業 (構成比 36.7 %)  
 法人 4,433 企業 (同 63.3 %)

# 1 業況判断

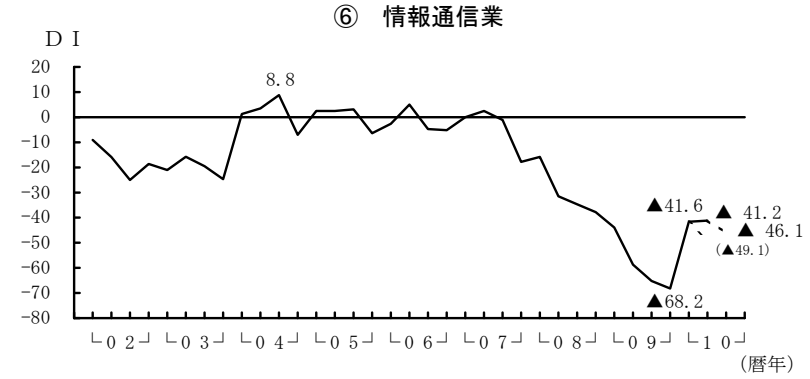
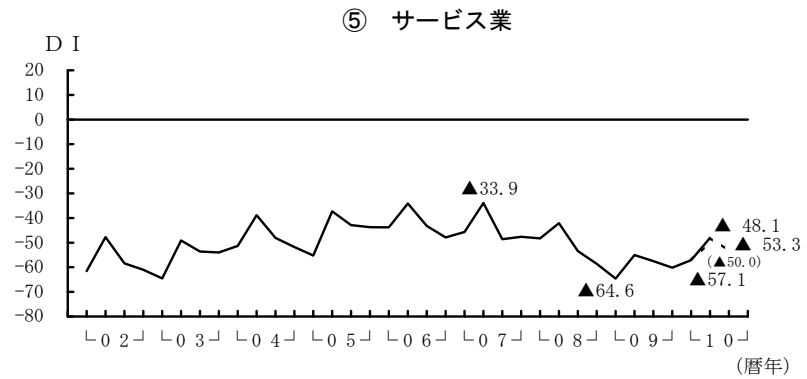
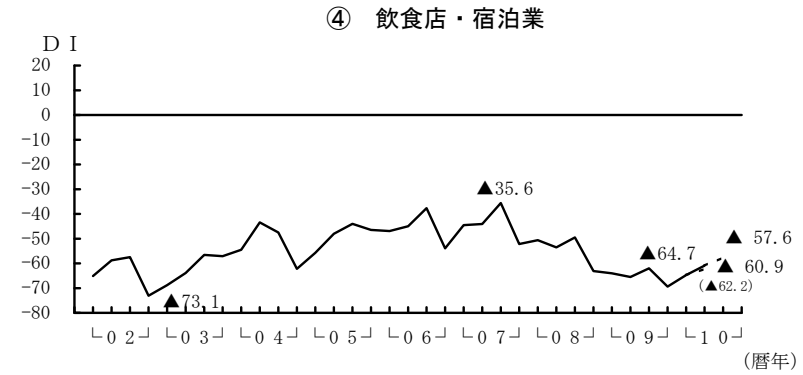
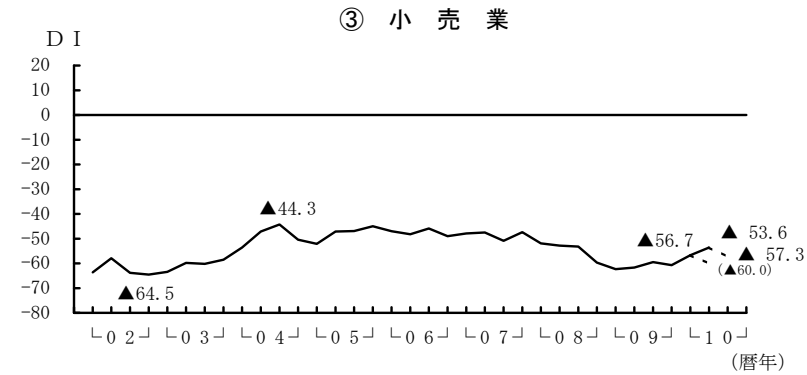
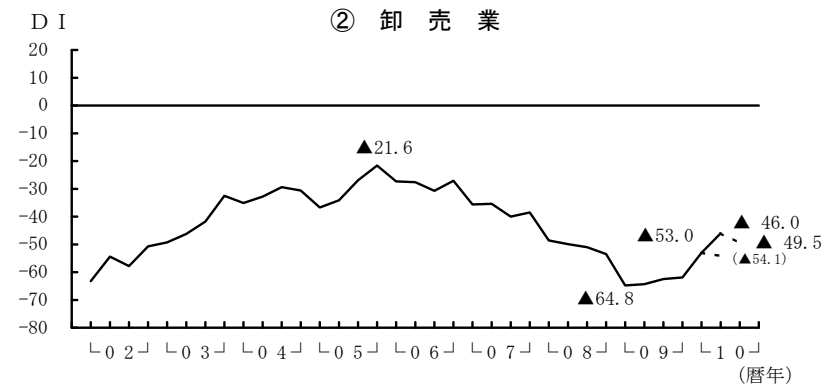
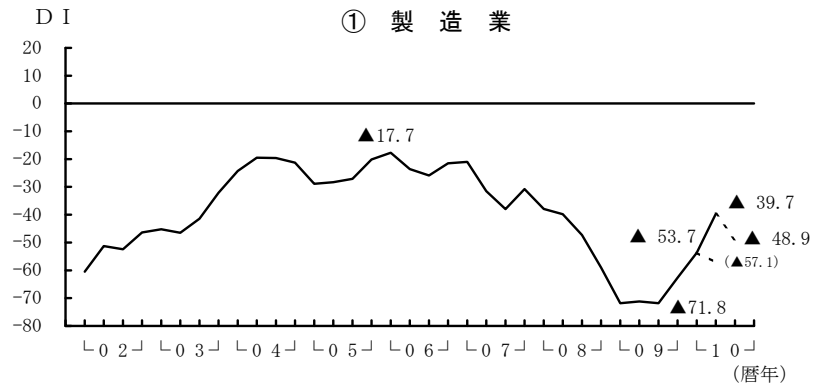
- 今期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査（2010年1－3月期）に比べて5.8ポイント上昇し、▲48.9となった。上昇は5期連続である。直近の景気の谷から14.7ポイント戻し、リーマン・ショックのあった2008年7－9月期の水準（▲50.3）を上回った。来期については、▲53.0と低下する見通しである。小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる。
- 業種別にみると、建設業を除く全ての業種で上昇した。製造業は2期連続で非製造業を上回り、両者の差は拡大している。製造業のなかでも、従業者規模の大きい方が直近の景気の谷からの上昇幅は大きい。
- 地域別にみると、九州を除く全ての地域で上昇した。大都市圏は大幅に上昇し、地方圏の水準まで戻した。

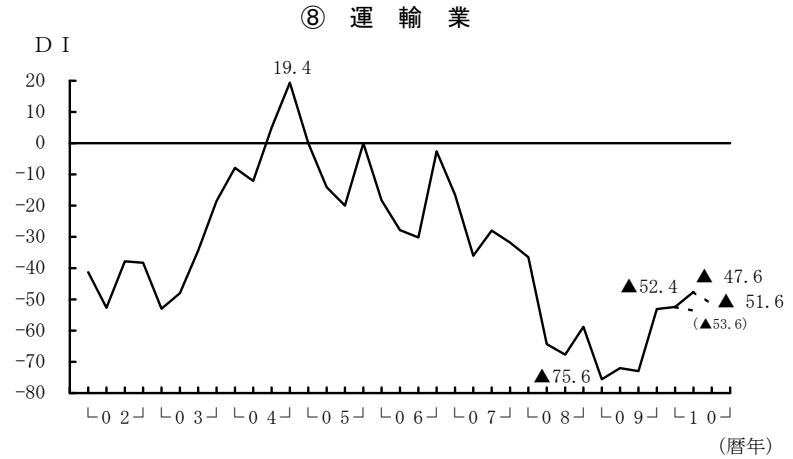
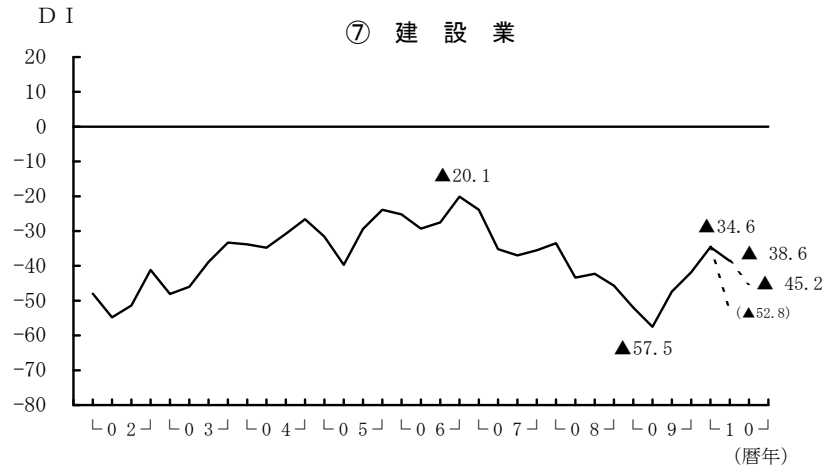
図－1－1 業況判断D Iの推移（全業種計）



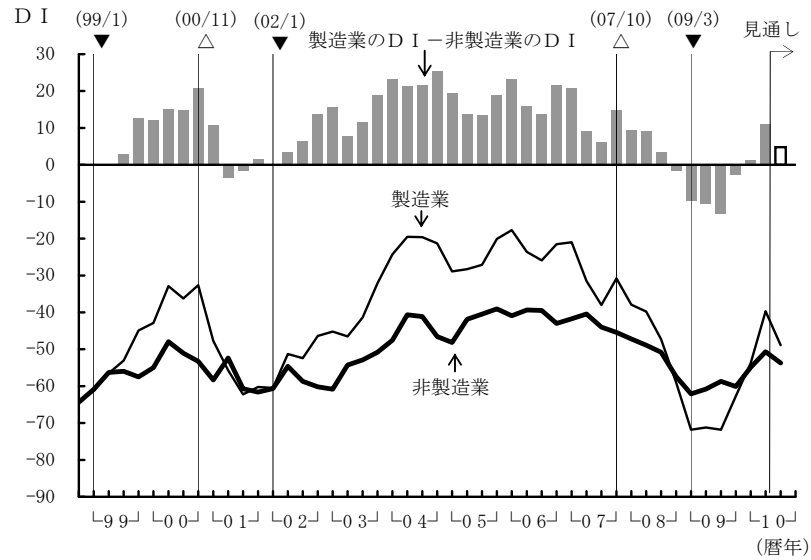
(注) 1 DIは「良い」企業割合－「悪い」企業割合。  
 2 ——— は実績、----- は見通し、( )内は前回調査時点における当期の見通し。

図-1-2 業種別業況判断D Iの推移





(参考1) 製造業と非製造業の業況判断DIの比較



(参考2) 製造業と非製造業の従業者規模別業況判断DIの推移

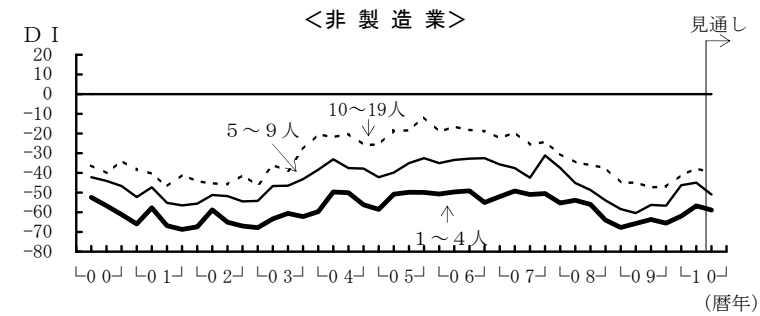
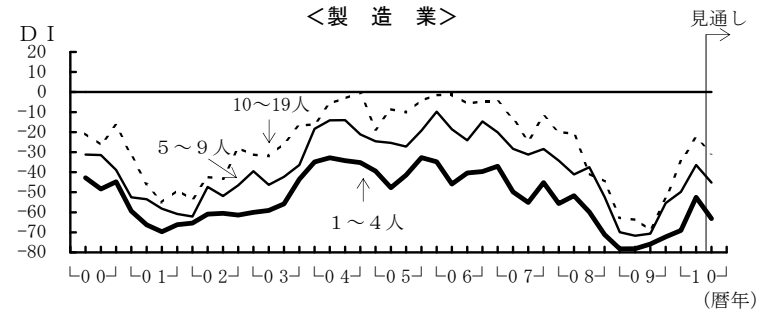
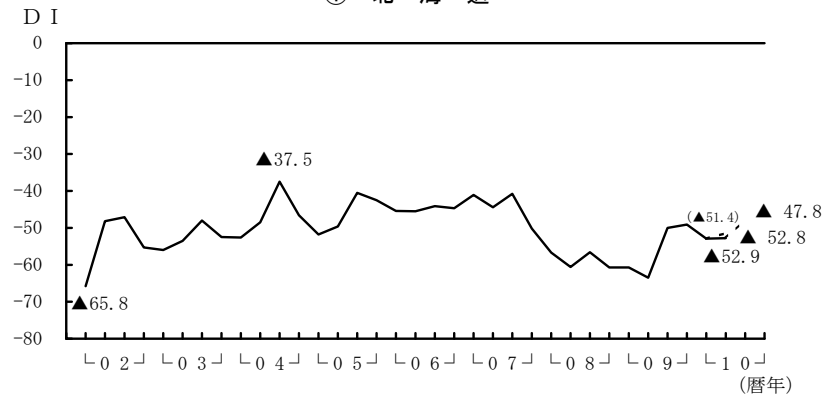
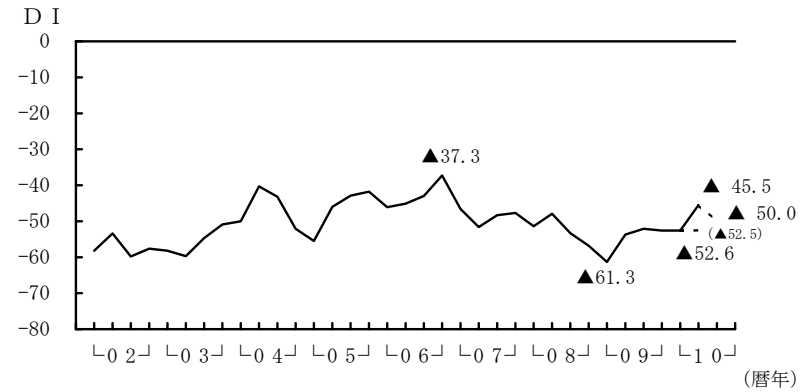


図-1-3 地域別業況判断DIの推移

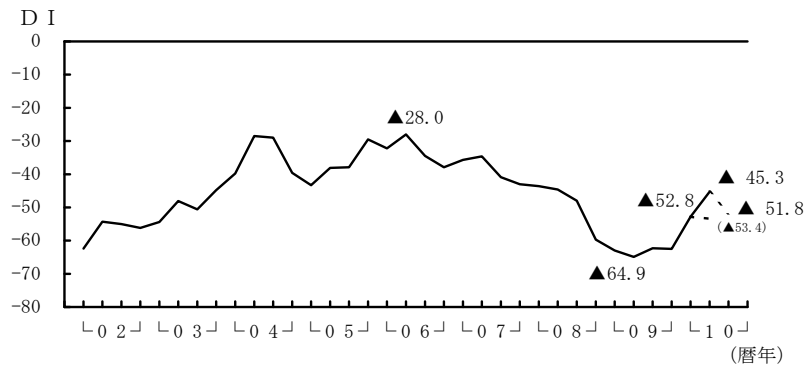
① 北海道



② 東北



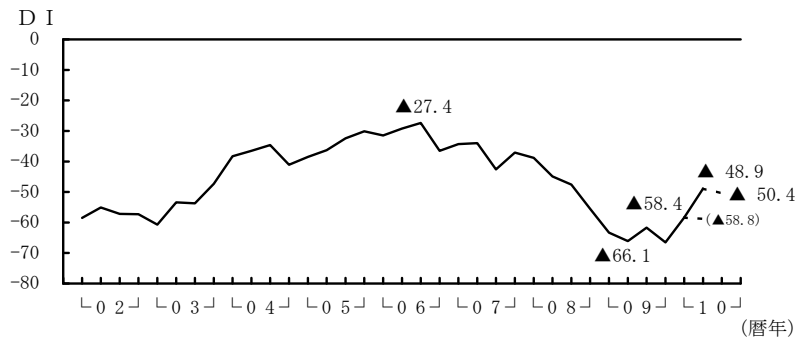
③ 北関東・信越



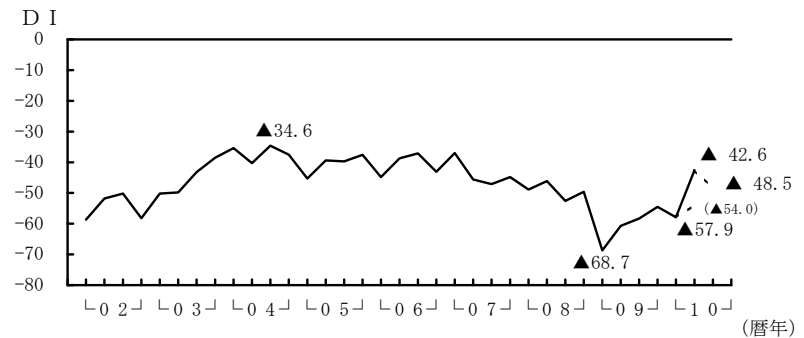
④ 東京・南関東



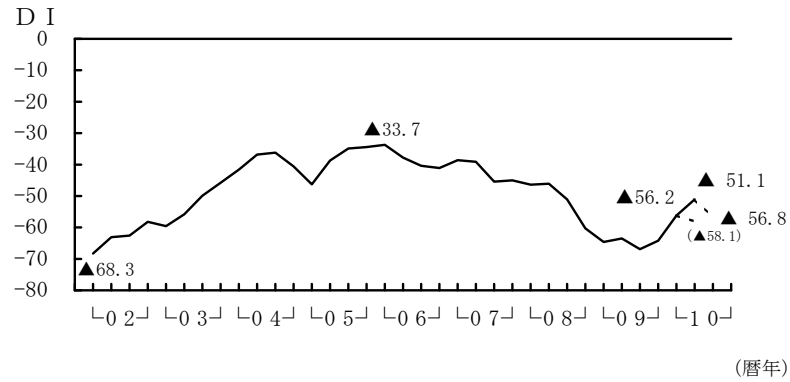
⑤ 東海



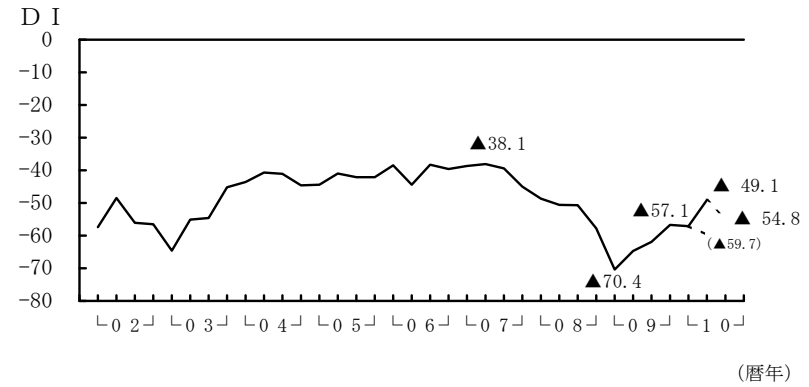
⑥ 北陸



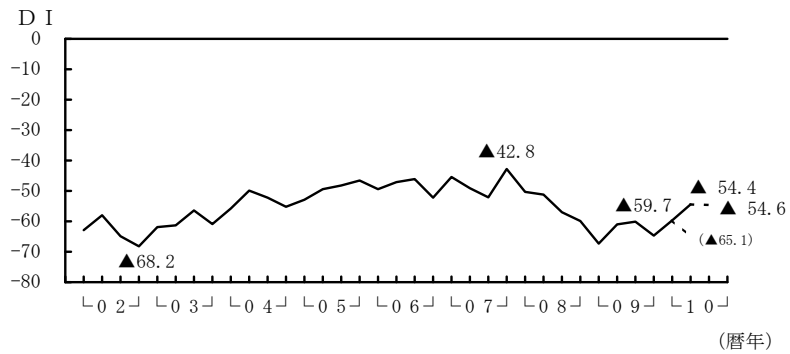
⑦ 近畿



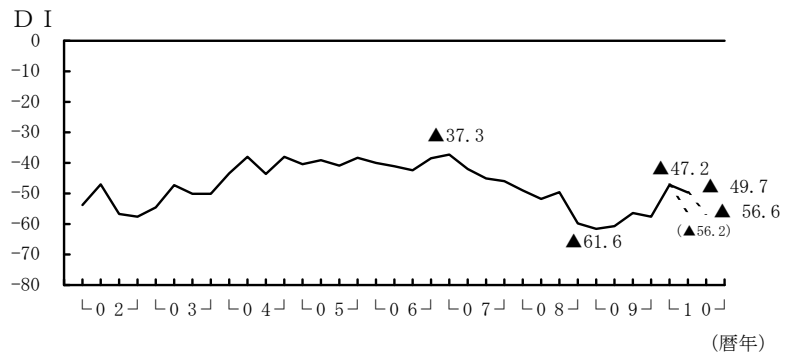
⑧ 中国



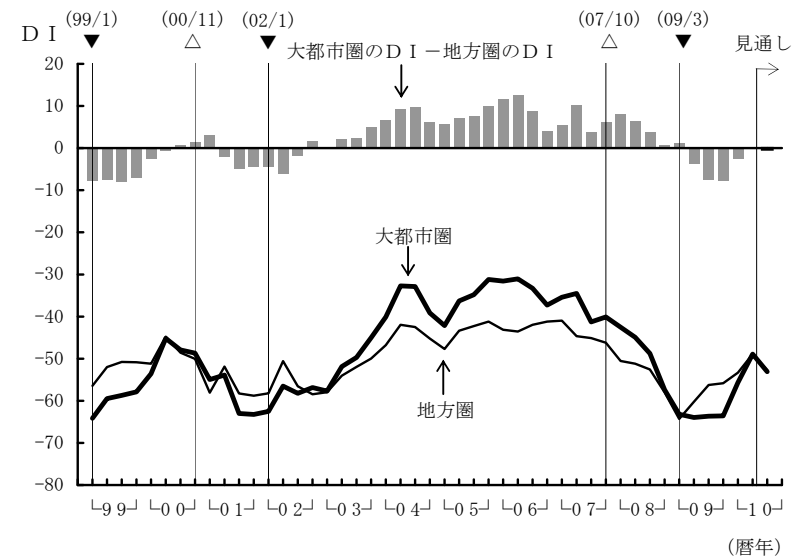
⑨ 四国



⑩ 九州



(参考) 大都市圏と地方圏の業況判断DIの比較

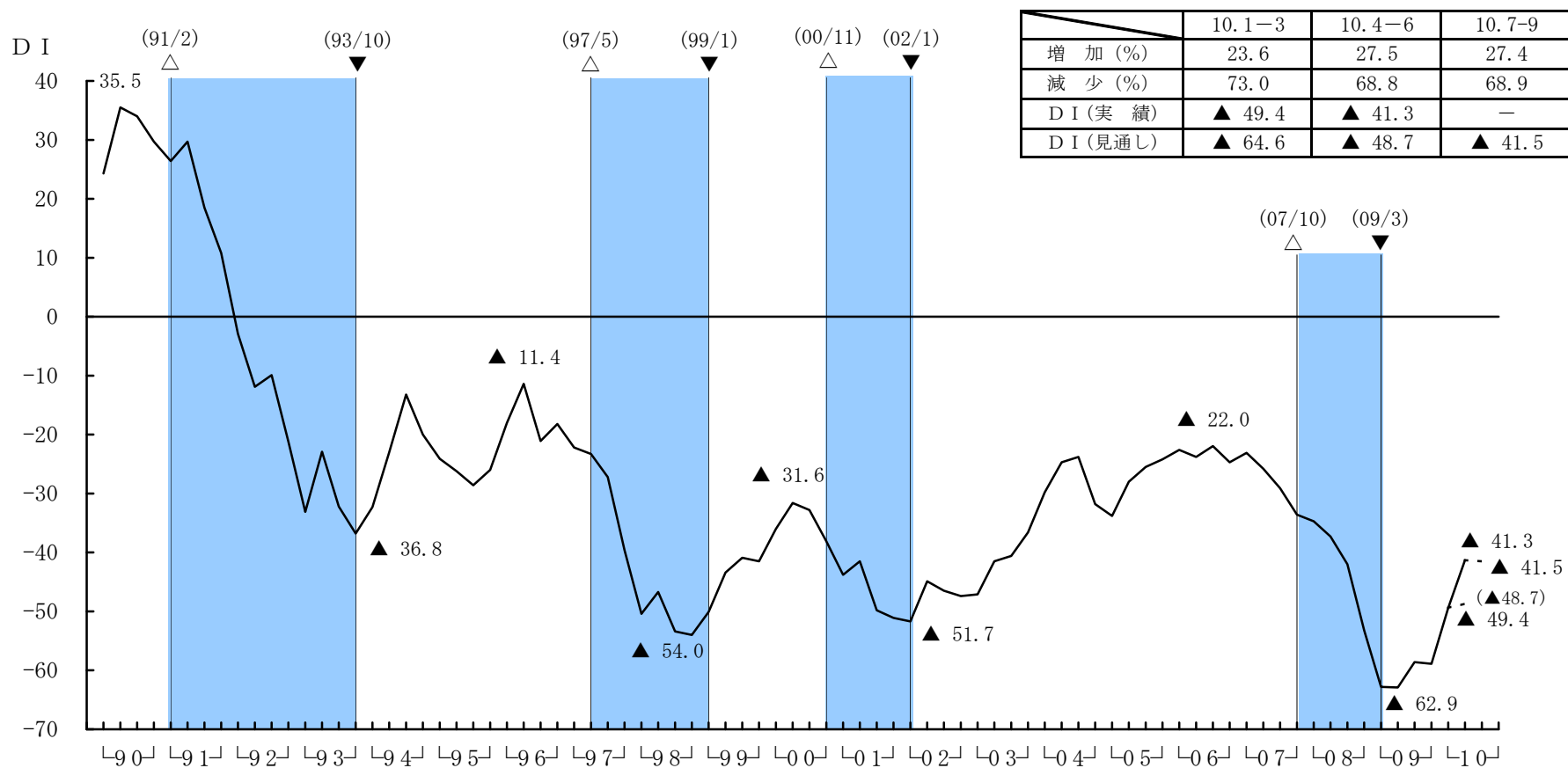


- (注) 1 大都市圏は、北関東・信越、東京・南関東、東海、近畿。  
 2 地方圏は、北海道、東北、北陸、中国、四国、九州。

## 2 売上

- 売上D I (全業種計)は、前回調査に比べて8.1ポイント上昇し、▲41.3となった。上昇は2期連続である。
- 来期については、0.2ポイントとわずかに低下する見通しとなっている。

図－2 売上D I の推移 (全業種計)

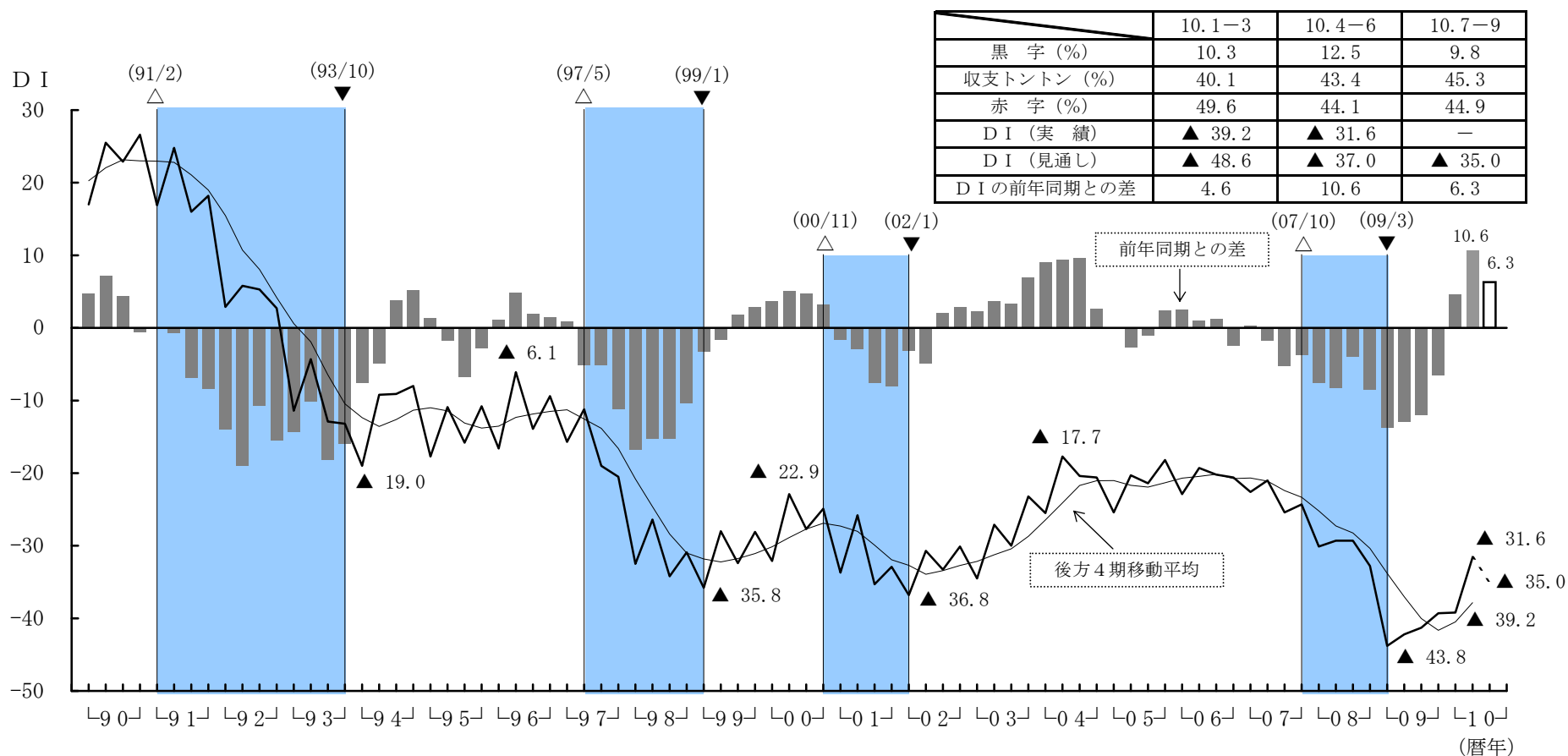


(注) 1 D I は前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合。  
 2 ——— は実績、----- は見通し、( )内は前回調査時点における当期の見通し。(暦年)

### 3 採 算

- 採算D I (全業種計)は、前回調査に比べて7.6ポイント上昇し、▲31.6となった。5期連続で上昇したものの、水準は依然として低い。前年同期の水準は、2期連続で上回っている。
- 来期については、3.4ポイント低下するものの、前年同期の実績は上回る見通しとなっている。

図－3 採算D I の推移 (全業種計)

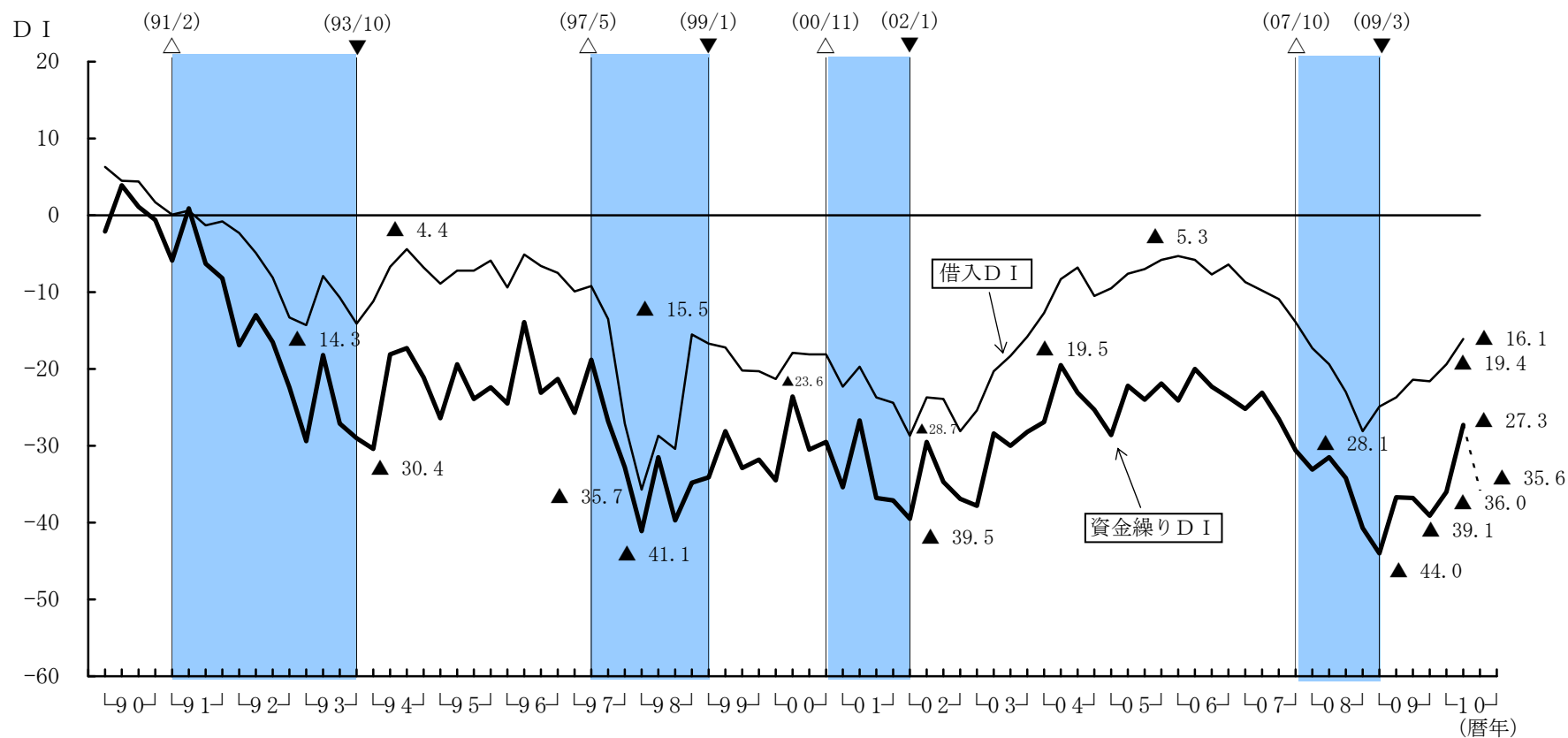


(注) 1 DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。  
 3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りD I (全業種計)は、8.7ポイント上昇し、▲27.3となった。上昇は2期連続である。来期については、8.3ポイント低下する見通しとなっている。
- 民間金融機関からの借入状況(全業種計)をみると、借入D Iは3.3ポイント上昇し、▲16.1となった。上昇は2期連続である。

図－4 資金繰りD I、借入D Iの推移（全業種計）

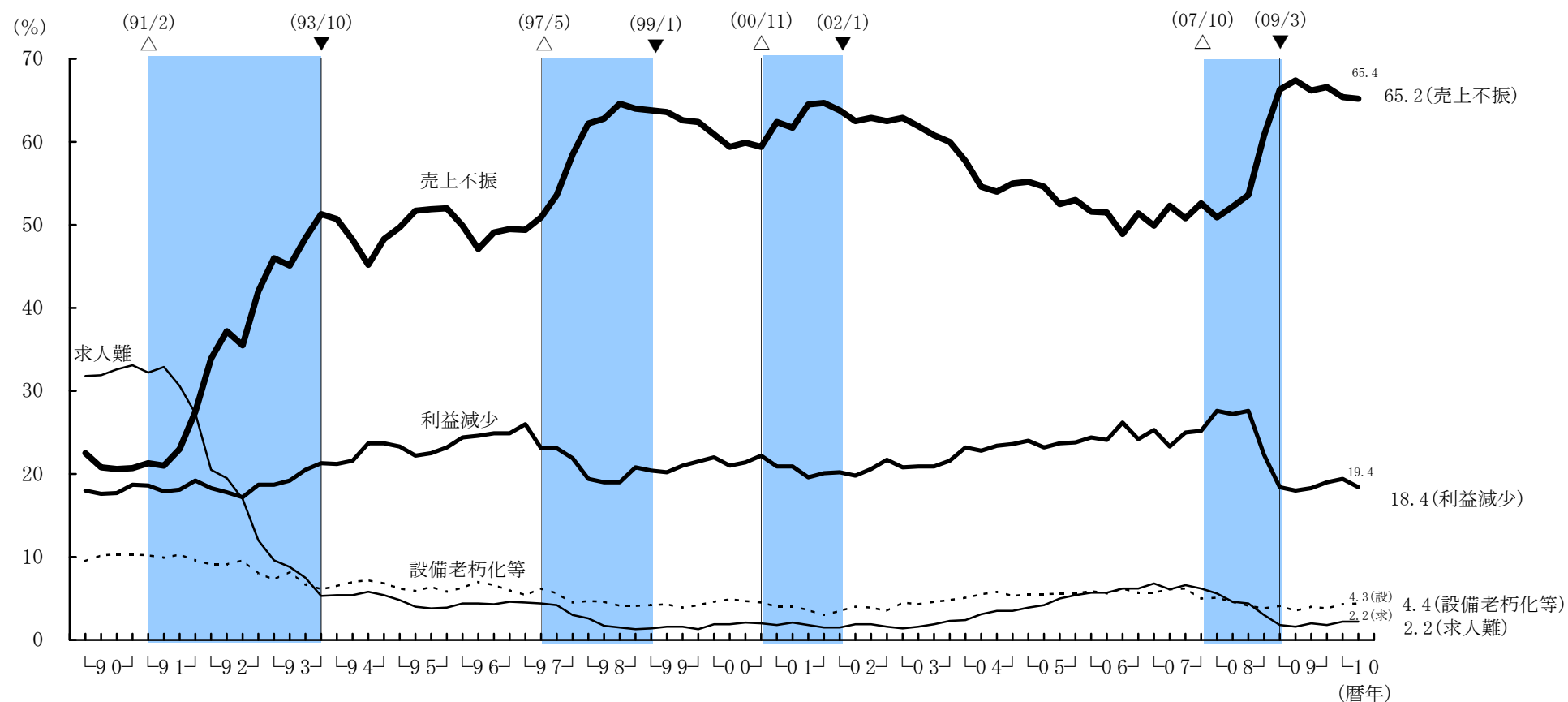


- (注) 1 資金繰りD Iは前期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合。  
 2 借入D Iは前期比で「容易になった」企業割合－「難しくなった」企業割合。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。

## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点(全業種計)をみると、依然として「売上不振」が第1位で、以下、「利益減少」「設備老朽化等」「求人難」の順となっている。「売上不振」の割合は低下傾向にあるが、いまだ高い水準にある。

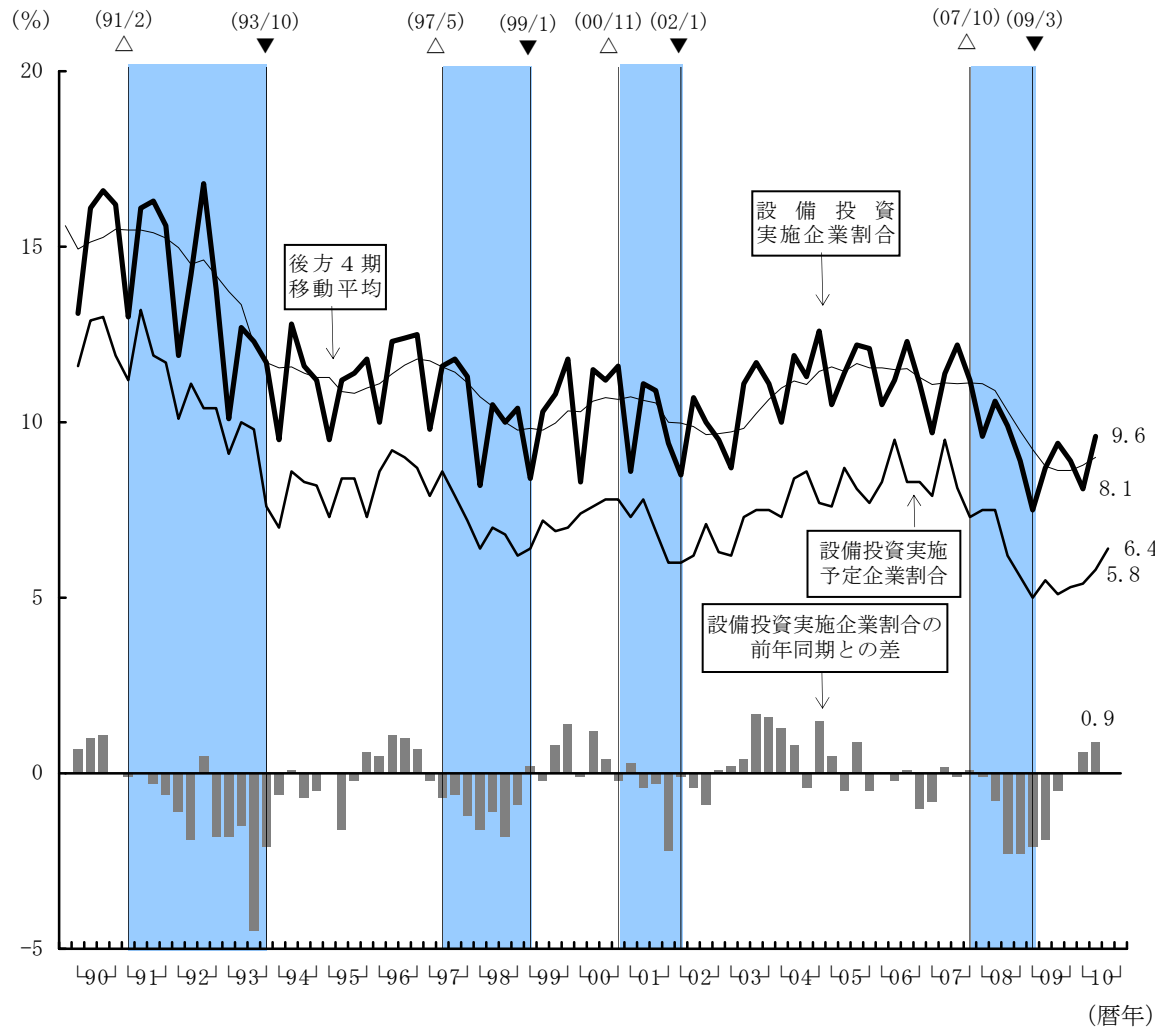
図-5 経営上の問題点の推移(全業種計、上位4項目)



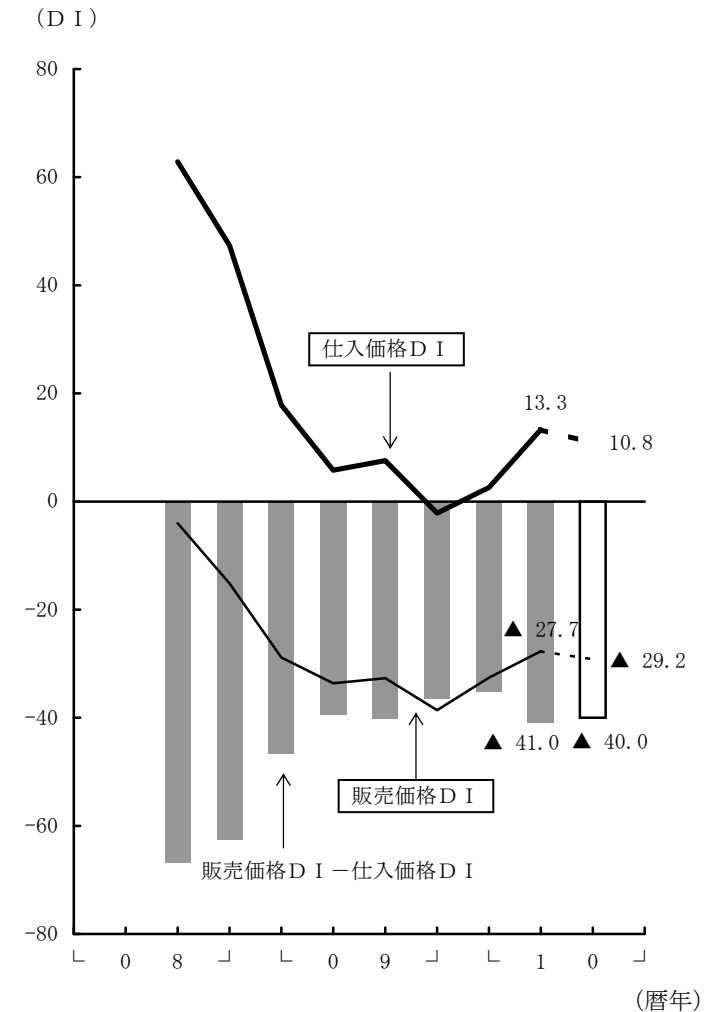
(注) 経営上の問題点(上位4項目)とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

## <参考>設備、価格

図－1 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－2 販売価格D I、仕入価格D Iの推移（全業種計）



- (注) 1 D Iは前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。  
 3 白抜き部分は見通し。  
 4 2008年7-9月期から調査を実施。

# 中 小 企 業 編

(2010年4－6月期実績、7－9月期および10－12月期見通し)

## 中小企業の景況は、持ち直しの動きが続いている

### [概況]

- ・ 今期の業況判断D I は、3年半ぶりにプラスに転じている。
- ・ 売上げD I は、マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- ・ 純益率D I は、マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- ・ 販売価格D I は、マイナス幅が縮小している。
- ・ 仕入価格D I は、大幅なプラスとなっている。
- ・ 借入難易D I は、短期、長期ともにプラスとなっている。
- ・ 設備投資実施企業割合は、緩やかながら上昇傾向にある。

## [調査の実施要領]

調査時点	2010年6月中・下旬
調査対象	当公庫取引先(原則従業員20人以上) 13,441社
有効回答数	6,915社 [回答率 51.4 %]

### <業種構成>

	調査対象	有効回答数	
製造業	5,867社	3,147社	(構成比 45.5 %)
鉱業	39社	22社	(同 0.3 %)
建設業	865社	492社	(同 7.1 %)
運送業(除水運)	681社	375社	(同 5.4 %)
水運業	165社	86社	(同 1.2 %)
倉庫業	87社	36社	(同 0.5 %)
情報通信業	239社	130社	(同 1.9 %)
ガス供給業	32社	25社	(同 0.4 %)
不動産業	1,018社	437社	(同 6.3 %)
飲食宿泊業	504社	233社	(同 3.4 %)
卸売業	1,667社	842社	(同 12.2 %)
小売業	908社	431社	(同 6.2 %)
サービス業	1,369社	659社	(同 9.5 %)
(参考)			
資本金	100万円未満	74社	(構成比 1.1 %)
同	100～500万円未満	278社	(同 4.0 %)
同	500～1,000万円未満	177社	(同 2.6 %)
同	1,000～5,000万円未満	4,704社	(同 68.0 %)
同	5,000～1億円未満	1,248社	(同 18.0 %)
同	1億円以上	434社	(同 6.3 %)

### 【注：業種区分の変更について】

総務省「日本標準産業分類」の改定(2007年11月)に伴い、業種区分について、「一般機械」、「精密機械」を統合し、「はん用機械」、「生産用機械」、「業務用機械」に変更。製造業の業種数は「17」から「18」に増加している。

(変更前) 一般機械、精密機械

(変更後) はん用機械、生産用機械、業務用機械

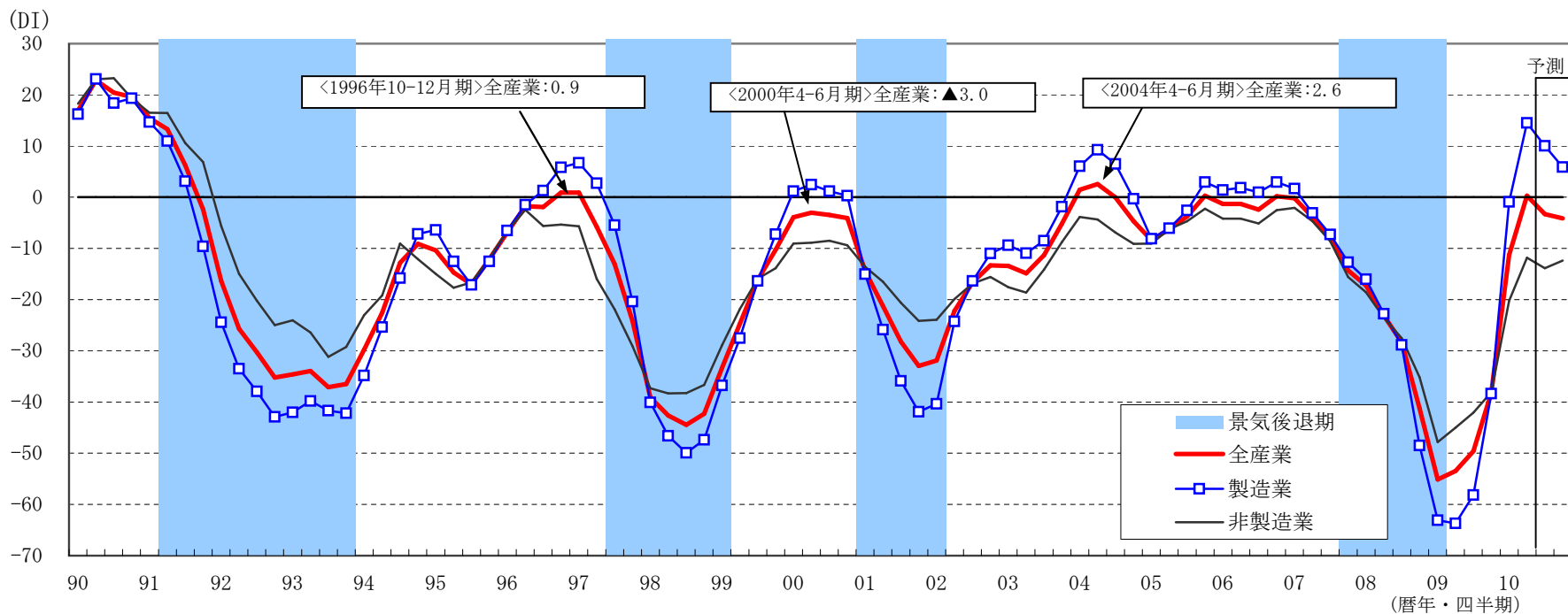
# 1 業況判断

- 業況判断D I は、2006年10-12月期以来 3年半ぶりにプラスに転じている。
- 先行きについては、小幅ながらマイナスに転じる見通しとなっている。

図-1-1 業況判断D I の推移（季節調整値） [2010年7~9月期、10~12月期は予測]

					2010年7-9月、10-12月の見通し			
	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	2010/4-6 (前回予想)	2010/7-9 (前回予想)	10-12	10-12
業況判断DI (季節調整値)	▲ 53.5	▲ 49.6	▲ 38.2	▲ 11.2	0.3 (▲ 12.2)	▲ 3.3 (▲ 10.0)	▲ 4.1	
製 造 業	▲ 63.7	▲ 58.2	▲ 38.4	▲ 0.9	14.5 (▲ 0.4)	10.1 (1.0)	5.9	
非 製 造 業	▲ 45.0	▲ 42.1	▲ 38.1	▲ 20.2	▲ 11.8 (▲ 22.2)	▲ 13.8 (▲ 18.3)	▲ 12.4	
同上 (原数値)	▲ 53.7	▲ 48.8	▲ 37.2	▲ 12.8	0.0 (▲ 13.2)	▲ 1.9 (▲ 10.7)	▲ 0.6	
製 造 業	▲ 64.2	▲ 58.1	▲ 36.4	▲ 2.5	14.0 (▲ 1.9)	10.4 (▲ 1.1)	8.7	
非 製 造 業	▲ 44.8	▲ 40.9	▲ 37.9	▲ 21.8	▲ 11.7 (▲ 23.2)	▲ 12.2 (▲ 19.0)	▲ 8.5	

(注) 前年同环比、「好転」-「悪化」企業割合



○ 業種別業況判断D I

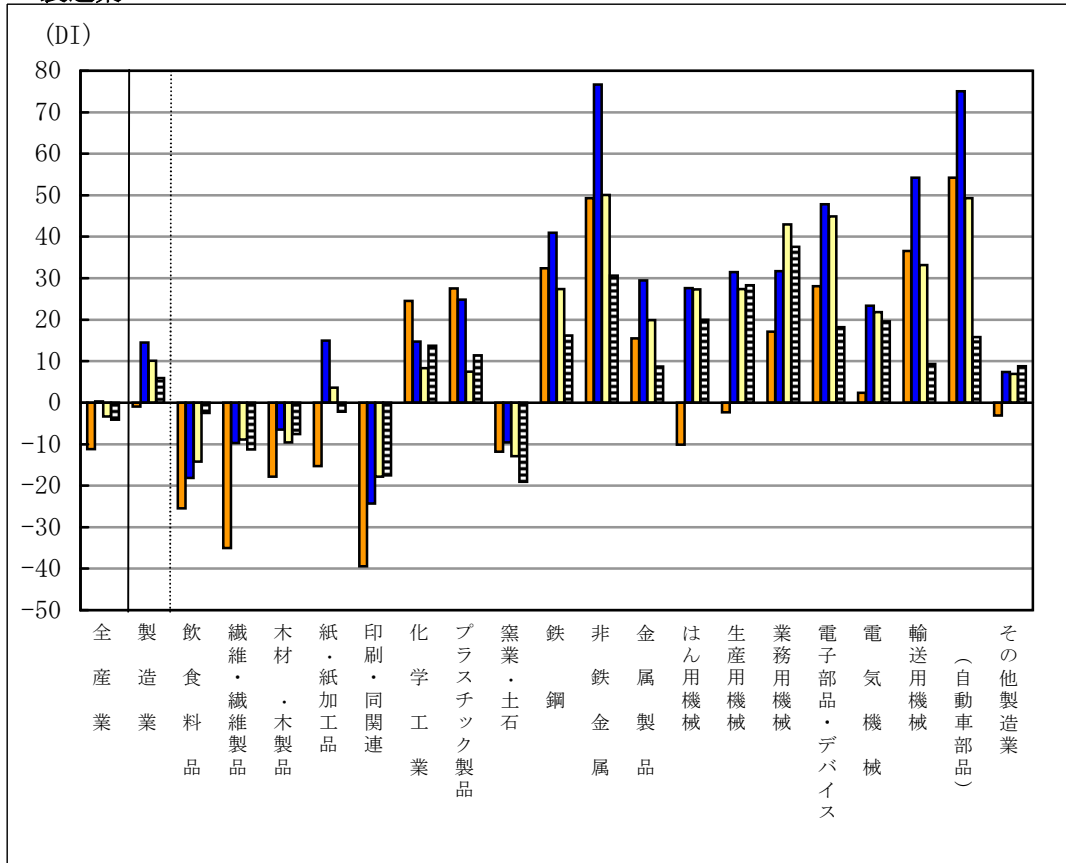
- ・ 非鉄金属、自動車部品などで、大幅なプラスが続いている。  
また、はん用機械、生産用機械などでプラスに転じている。
- ・ 先行きについては、自動車部品、非鉄金属などでプラス幅が縮小する見通しとなっている。  
一方、建設業などでは、低い水準が続く見通しとなっている。

図－1－2 業種別業況判断D Iの推移（季節調整値）

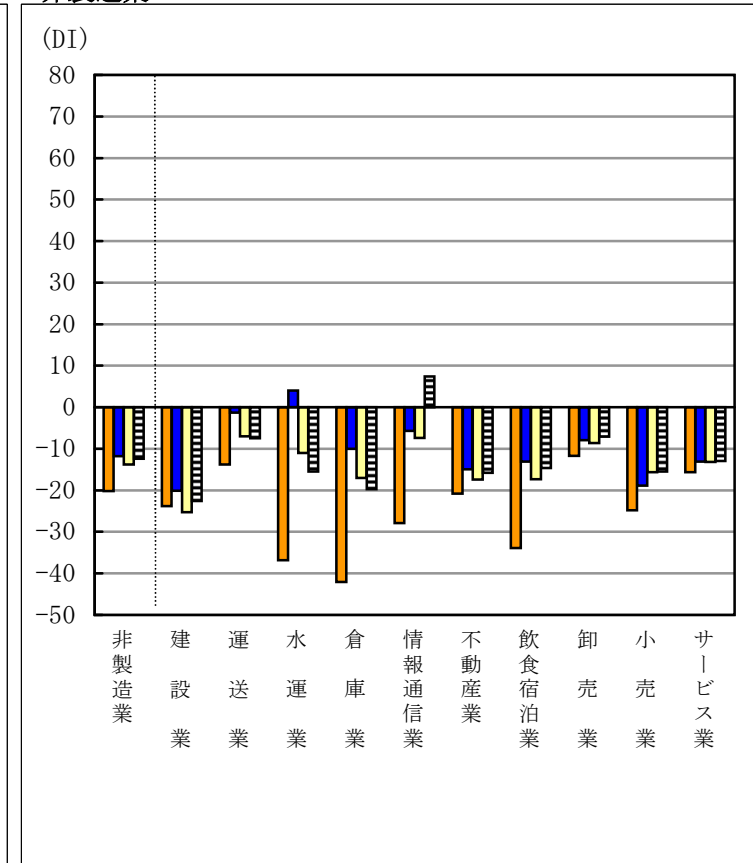
※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



－製造業－



－非製造業－

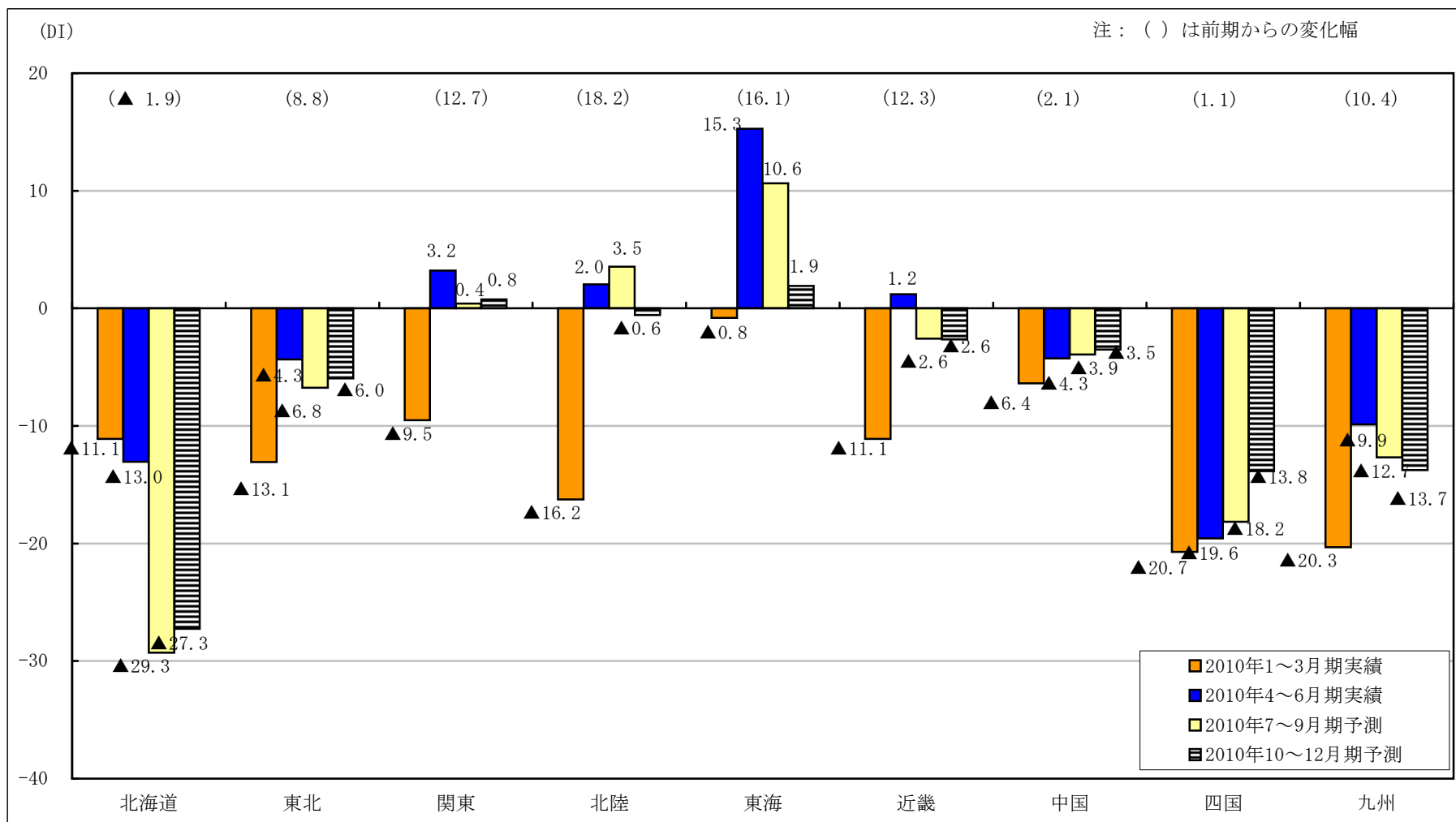


○ 地域別業況判断D I

- ・東海、関東、北陸、近畿でプラスに転じている。
- ・先行きについては、東海、関東でプラスが続く見通しとなっている。
- 一方、北海道、九州などではマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－１－３ 地域別業況判断D I（季節調整値）

※前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合



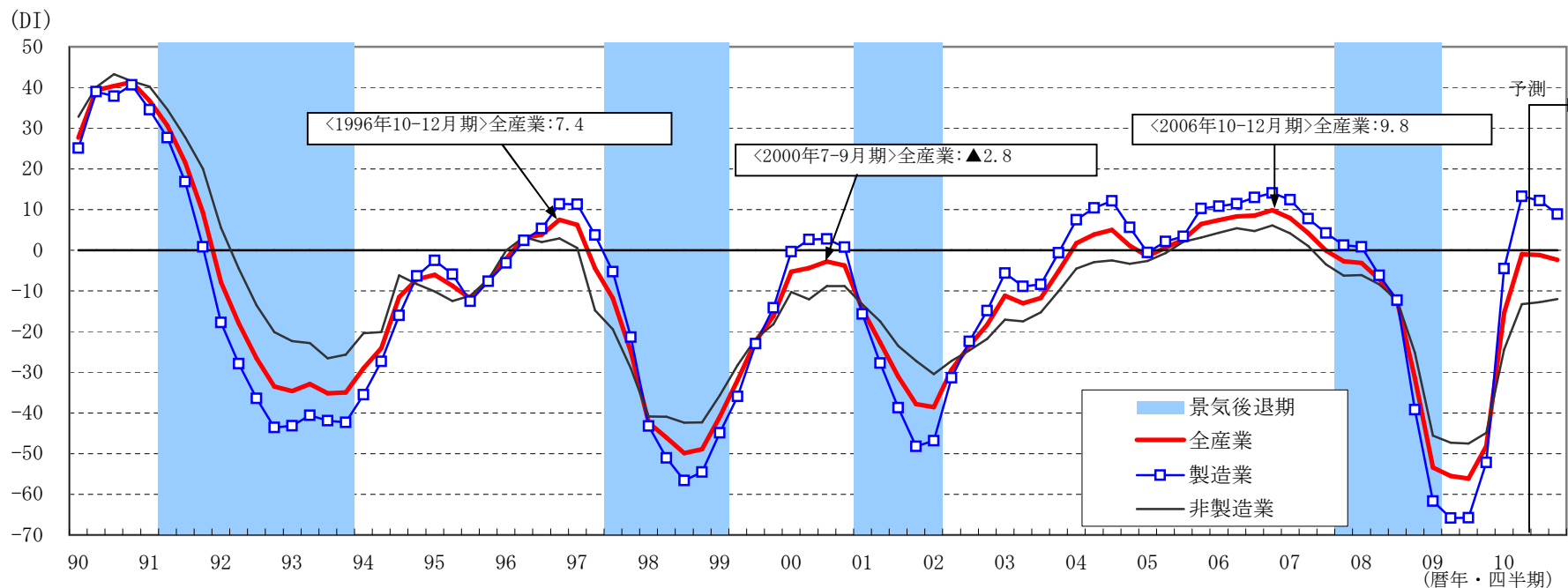
## 2 売上げ

- 売上げDIは、マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- 先行きについては、小幅ながらマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－２－１ 売上げDIの推移（季節調整値） [2010年7～9月期、10～12月期は予測]

					2010年7-9月、10-12月の見通し		
	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	2010/4-6 (前回予想)	2010/7-9 (前回予想)	10-12
売上げDI(季節調整値)	▲ 55.5	▲ 56.1	▲ 48.1	▲ 15.4	▲ 1.0 (▲ 9.8)	▲ 1.2 (▲ 6.7)	▲ 2.4
製造業	▲ 65.8	▲ 65.8	▲ 52.2	▲ 4.5	13.2 (2.6)	12.2 (6.2)	8.9
非製造業	▲ 47.3	▲ 47.5	▲ 44.9	▲ 24.4	▲ 13.3 (▲ 21.6)	▲ 12.8 (▲ 15.8)	▲ 12.0
同上(原数値)	▲ 55.8	▲ 54.9	▲ 46.9	▲ 17.6	▲ 1.3 (▲ 12.6)	0.3 (▲ 8.8)	1.6
製造業	▲ 66.3	▲ 65.4	▲ 50.1	▲ 6.5	12.7 (0.8)	12.9 (3.2)	11.6
非製造業	▲ 47.0	▲ 45.9	▲ 44.1	▲ 27.2	▲ 13.0 (▲ 24.4)	▲ 10.3 (▲ 19.4)	▲ 7.0

(注) 前年同期比、「増加」－「減少」企業割合



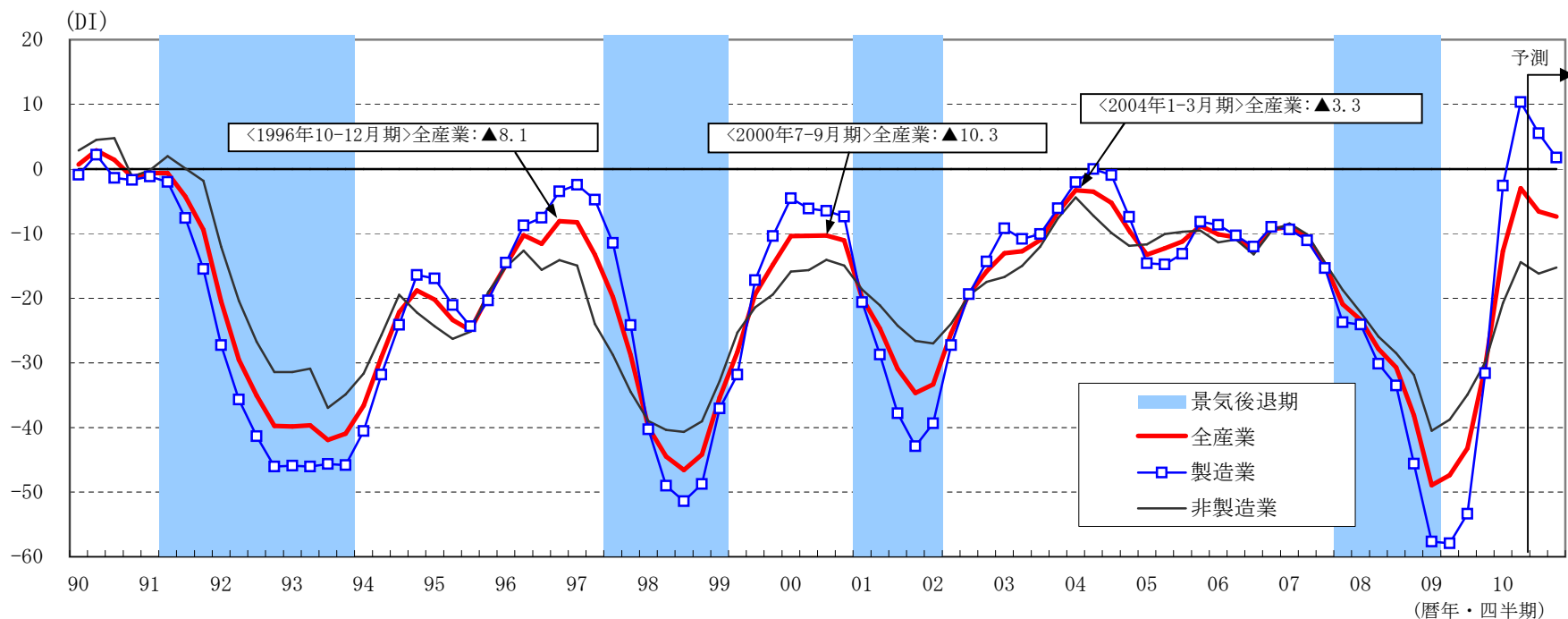
### 3 利益

- 純益率D Iは、マイナス幅が縮小し、製造業ではプラスに転じている。
- 先行きについては、小幅ながらマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－3－1 純益率D Iの推移（季節調整値） [2010年7～9月期、10～12月期は予測]

	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	2010年7-9月、10-12月の見通し		
					2010/4-6 (前回予想)	2010/7-9 (前回予想)	10-12
純益率DI(季節調整値)	▲ 47.4	▲ 43.2	▲ 30.6	▲ 12.7	▲ 3.0 (▲ 13.3)	▲ 6.6 (▲ 12.8)	▲ 7.4
製造業	▲ 57.9	▲ 53.3	▲ 31.6	▲ 2.6	10.4 (▲ 2.4)	5.5 (▲ 2.4)	1.7
非製造業	▲ 38.8	▲ 34.9	▲ 29.9	▲ 20.8	▲ 14.4 (▲ 23.8)	▲ 16.2 (▲ 21.5)	▲ 15.2
同上(原数値)	▲ 47.3	▲ 43.4	▲ 30.0	▲ 13.1	▲ 3.0 (▲ 15.0)	▲ 5.5 (▲ 14.0)	▲ 5.1
製造業	▲ 58.3	▲ 53.6	▲ 30.2	▲ 3.3	9.9 (▲ 3.8)	5.1 (▲ 4.5)	2.7
非製造業	▲ 38.2	▲ 34.7	▲ 29.9	▲ 21.6	▲ 13.9 (▲ 24.9)	▲ 14.5 (▲ 22.3)	▲ 11.7

(注) 前年同期比、「上昇」－「低下」企業割合



## 4 価格、金融関連

- 価格関連DI : 販売価格DIは、マイナス幅が縮小している。  
仕入価格DIは、大幅なプラスとなっている。
- 金融関連DI : 資金繰りDIは、プラスに転じている。  
短期借入難易DI、長期借入難易DIともにプラスとなっている。

図-4-1 価格関連DIの推移(原数値)

	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	先行き見通し		
					4-6	7-9	10-12
販売価格DI	▲ 34.3	▲ 38.7	▲ 41.4	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 23.1	▲ 20.9
仕入価格DI	▲ 13.1	▲ 13.9	▲ 17.1	0.9	20.7	25.4	25.6

※前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合

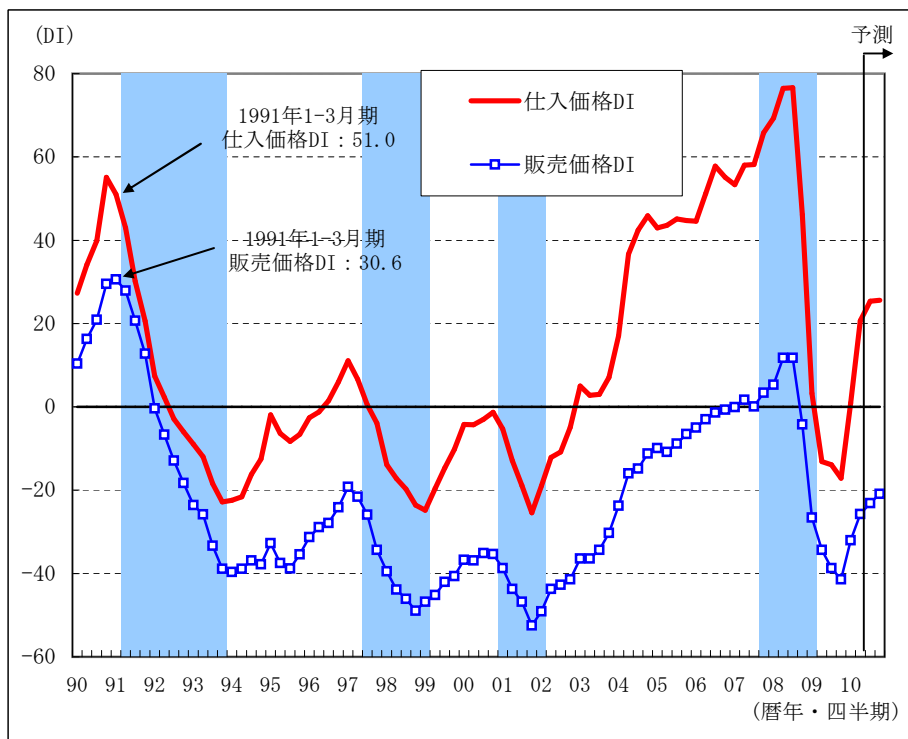
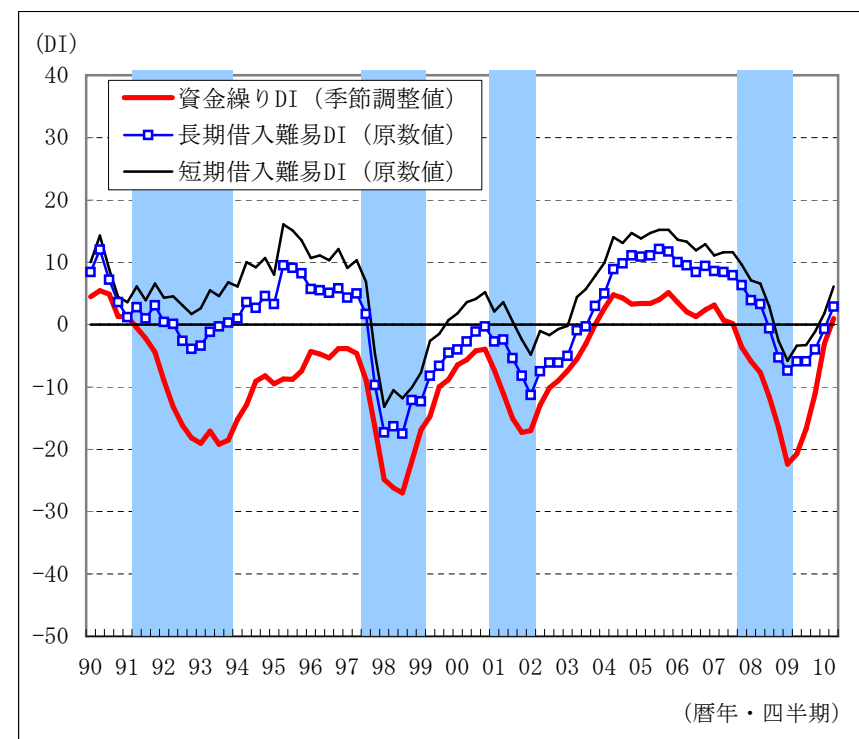


図-4-2 金融関連DIの推移

	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	4-6
長期借入難易DI (原数値)	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 4.0	▲ 0.7	2.9
短期借入難易DI (原数値)	▲ 3.4	▲ 3.3	▲ 1.1	1.8	6.1

※前年同期比。資金繰りDIは「好転」-「悪化」企業割合、  
短期・長期借入難易DIは「容易」-「困難」企業割合



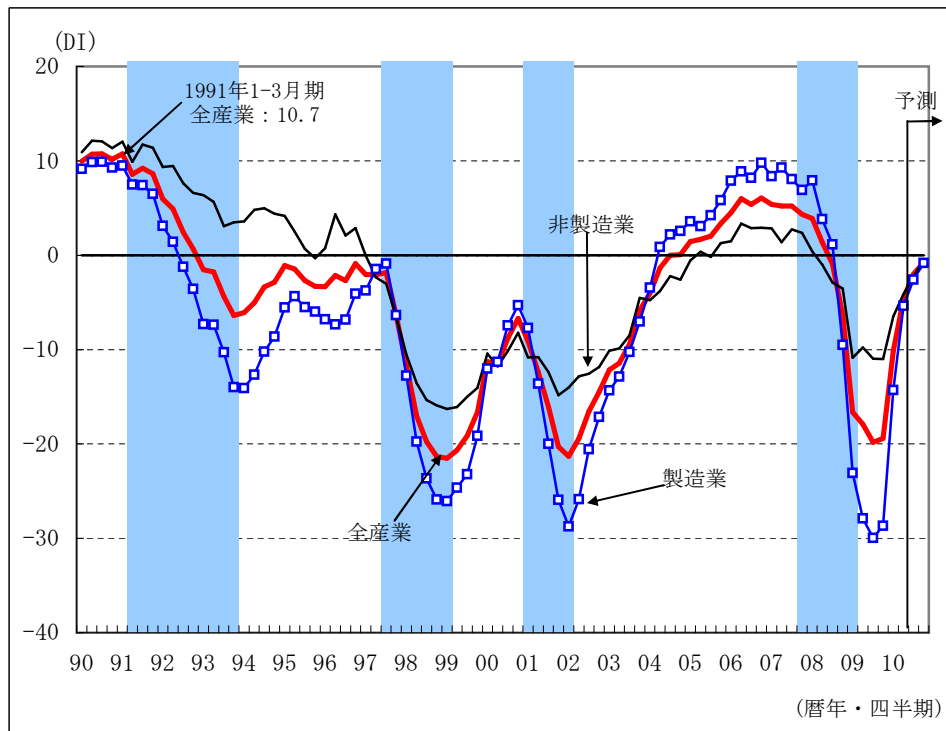
## 5 雇用、設備

- 従業員D Iは、マイナス幅が縮小している。
- 設備投資実施企業割合は、緩やかながら上昇傾向にある。

図－5－1 従業員D Iの推移（季節調整値）

	先行き見通し						
	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	▲ 17.9	▲ 19.8	▲ 19.4	▲ 10.2	▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 0.7
製造業	▲ 27.9	▲ 30.0	▲ 28.7	▲ 14.3	▲ 5.4	▲ 2.6	▲ 0.8
非製造業	▲ 9.8	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 6.5	▲ 4.1	▲ 2.2	▲ 0.5

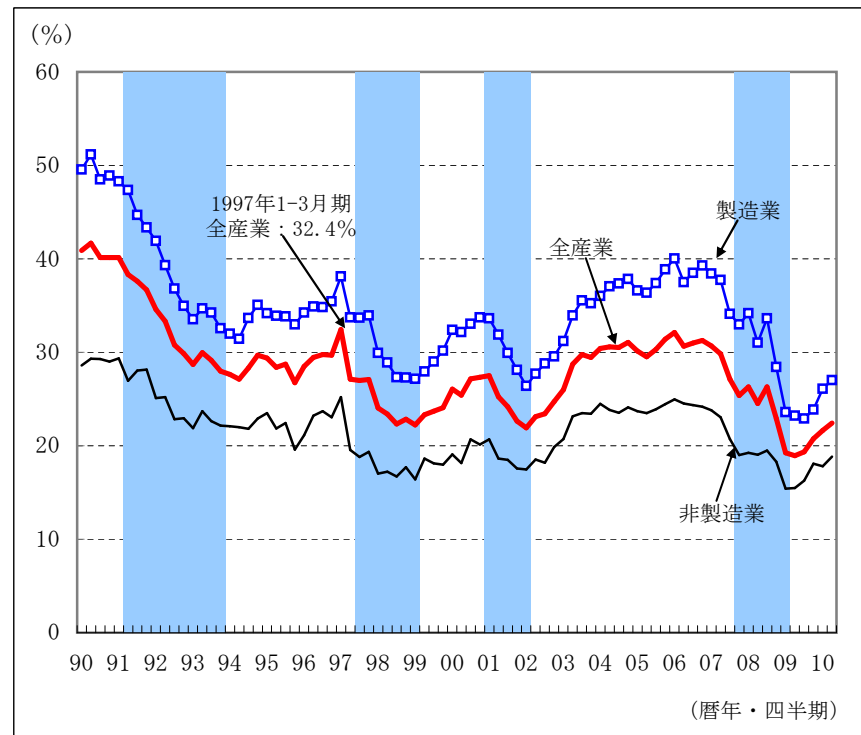
※前年同期比、「増加」－「減少」企業割合



図－5－2 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

	2009/4-6	7-9	10-12	2010/1-3	4-6
全産業	18.9	19.3	20.7	21.6	22.4
製造業	23.2	22.9	23.9	26.1	27.0
非製造業	15.5	16.3	18.1	17.8	18.8

※実施企業割合、%



## 6 経営上の問題点

- 「売上げ、受注の停滞・減少」の割合は、2期連続で減少している。  
(前回66.2%→今回58.8%)
- 「製品安」の割合は、7期連続で上昇している。(前回9.5%→今回10.4%)
- 「原材料高」の割合は、2期連続で上昇している。(前回3.8%→今回6.8%)
- 「求人難」の割合は、上昇している。(前回1.6%→今回2.1%)

